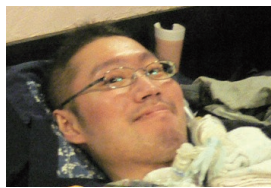


ゆにとは



代表 佐藤謙

“ゆに”とは、大学で (University) 誰もが (Universal) 同じように学べるようにするためのユニーク (Unique) な組織 (Unity) といった意味をこめた名前です。障害学生支援を専門とする NPO 法人です。代表の佐藤（筋ジストロフィ当事者）や周囲のサポーターの障害学生支援の経験から生まれました。大学間でのサポーターの共有やサポーター養成、大学からの相談、障害学生からの相談受付、自宅生活の支援などを行っています。大学生の支援からスタートした NPO ですが、今回は「高校での情報保障」に関する取り組みを発表します。

高校での情報保障

高校での情報保障は教室にスペースがなく通訳者が入れない、学生同士でのサポートができない、学校単位での支援機関がないなどの課題があります。これまで京都では補聴援助システムを先生に持ってもらうなどの「聴覚補償」の施策が中心でした。そんな中 '14年に「情報保障」を求める京都聴障児親の会からの呼びかけで、教育委員会や学校、筑波技術大学の協力を得て、遠隔情報保障をいつでも利用できる体制を目指した動きが始まりました。ゆには情報保障の担い手として障害当事者、行政や学校などと相談を進め、'16年4月からの本格的な導入をめざしています。



T-TAC Caption(筑波技術大学三好准教授開発)を利用した支援の様子

ゆに (NPO・第三者) による情報保障のメリット

高校での情報保障実現

- ・情報保障スキルを持った学生や地域の要約筆記者の活用
- ・遠隔情報保障の活用
- ・これまで実現しなかった高校での情報保障が実現可能に

情報保障者のレベルアップ

- ・遊休状態の学生 PC テイカーの活用・スキルの維持
- ・現役テイカーのスキルアップ
- ・所属大学での情報保障の質向上

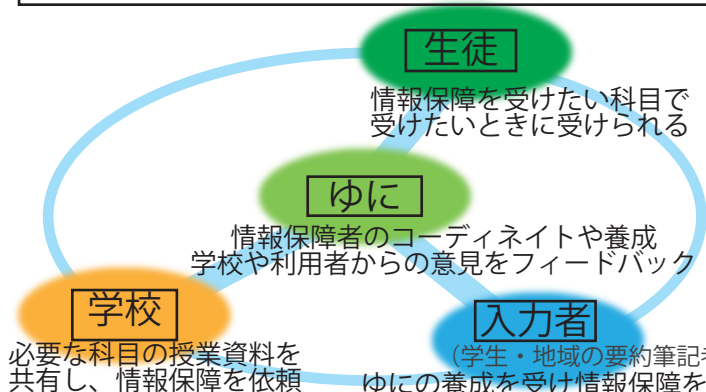
情報保障活用の裾野の拡大

- ・高校生のうちに情報保障を経験
- ・大学での情報保障をスムーズに受けられる
- ・情報保障活用になれることができる
- ・音声情報の多さに気づくことができる

情報保障者の専門性の確保

- ・養成やスキルアップ・健康維持などのために定期的に講習会を開催
- ・コーディネイト・バックアップ体制の確保
- ・専門の組織によるコーディネイト

ゆにの情報保障のしくみ



利用者の声

- ・わかりやすすぎて心の中で笑ってしまった
- ・マイク（補聴援助システム）だけでは70～80%しかわからない
- ・板書を写している間は（口が見えずに）聞き漏らすことが多い
- ・これを機に大学受験も頑張りたい
- ・普段聞き漏らしていることがこんなにあるんだと気付いた
- ・暗い授業に花が咲いたようにわかりやすい